

今週のセルグループ (赤字)			2月26日(日)～3月4日(土)	
グループ	次回の日時	場 所	前回の証しなど	
グレイス 鈴木千姉	3/3(金) 午後8:45	鈴木宅	2/17	小さなことでいろいろと心配して生きている。心配する必要はない、と宣言しました。
Gospel 鈴木尚姉	3/10(金) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	2/6	荒野をさまよっていた。40年もさまよいたくない。向きを変えたい
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	2/19	みことばできよめていただいて神様の声を聞いていける恵みに感謝します。
からし種 磯貝姉	3/9(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	2/16	注意する時、少し言い方を変えてみた。相手の態度もいつもと違い相手に伝わった。
ユース 岩下兄	3/1(水) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	2/15	生活の中で、神様に祈って聞いたりすることができるように変えられている。
Rock 鈴木洋兄	3/1(水) 午後8:30	鈴木宅	2/15	言っていることと行動が一致していない。正直じゃない自覚が必要。
シャローム 平岩姉	3/11(土) 午前10:00	平岩宅	2/11	頑張らないと認めてもらえないと思う。自分の頑張りが邪魔をしている。
なつめやし 高橋智姉	3/19(日) 練習後	高橋宅	2/19	祈って求めても答えが与えられないのは、みこころを行っていないのでは。
リジョイス 杉本姉	3/9(木) 午前10:15	佐尾山宅	2/11	交わりが恵まれたことを主に心より感謝します。
ジョイフル 穂刈兄	3/7(火) 午後9:30	Zoomで 分かち合い	2/5	食事の交わりしながら、祈りの課題を祈りました。
アガベ 長塚姉	2/26(日) 練習後	コミュニティ センター	2/12	悪魔も出ていけと宣言し癒されました。清掃奉仕も、クワイヤー、セルにも参加できた。
サクセス 鈴木勝兄	2/26(日) 礼拝後	コミュニティ センター	2/12	食事の交わり
リーダーズ セル	3/8(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	2/8	来週です。
セル研修	休講			セルリーダーのためにお祈りください。
ビジョン 平岩恵兄	3/12 (日) 午後2:00	LINEで 分かち合い	2/19	小さく見える仕事や、神様から与えられている思いをコツコツ続けていくことが大切。
worship 長塚寛兄	3/19(日) 礼拝後	長塚寛宅	2/19	みことばと自分の考えを一致させて話すのでなければ、誰も心を聞いてはくれない。
高校生 平岩姉	2/26(日) 午前8:30	第三教室	2/19	愛そうと決意すると、友達に対するイラつきはおさまった。
中学生 梅田姉	2/26(日) 午前8:30	第四教室	2/19	お祈り、もういいかって思いそうになったけど、やっぱりちゃんとお祈りしてもらった。
キッズ2 小山姉	2/26(日) 午前8:30	第二教室	2/19	ドラムの練習。まだまだコツコツ練習することが必要だと気付かされた。
キッズ1 芳井姉	2/26(日) 午前8:30	コイノニアルーム	2/19	私は大丈夫って思った。間違いつてわかった。
Shine 小原姉	2/26(日) 午後3:30	小原宅	2/12	おかしいと思う事は愛を持って会社へ伝えようという思いが与えられました。
ギデオン 芳井兄	3/11(土) 午後6:30	芳井宅	2/11	何気なく言っている言葉が人を傷つけてしまう。心を頑なにせず、振り切っていく。
カルバリ 野田兄	3/7(火) 午前9:00	野田宅	2/7	救われたことをお祝いして、食事の交わりをしました。
神の家族 伊岐見真姉	2/26(日) 午後7:30	LINEで 分かち合い	2/12	中止
ぶどうの枝 成瀬兄	2/26(日) 午後1:30	コミュニティ センター	2/12	自分の都合のよいことは受け取り、都合の悪いことは無視してきた。立ち返る。
恵み 菅原姉	3/9(木) 祈祷会后	交わり	2/19	自分の考えで人をさばいてしまう。悔いあらためました。

礼拝奉仕		聖 日 礼 拝		祈 祷 会	
		司 会	奏 楽		奏 楽
今 週	2/26 (日)	大高愛姉	鈴木千姉	3/2 (木)	鈴木尚姉
		午前10時より			
来 週	3/5 (日) 洗礼式	大高愛姉	岩下渚姉	3/9 (木)	鈴木千姉
		午前10時より			

※ 来週3/5(日)礼拝後、洗礼式を行います。祝福をお祈りください。
受洗をお祝いして愛餐会もあります。ご参加下さい。

※ 来週3/5(日)の、礼拝バイブルスタディは**休講**になります。

祈りの課題

・人々の救いを覚えて

・家族知人をキリストへ

・教会近隣の人々の救い

・東海地方の救いのために

・日本の救いのために

・世界の救いのために

・働きを覚えて

・バイブルスタディの働き

・リバイバルクワイヤーの働き

・リバイバルママズの働き

・那古野アウトリーチの働き

・祈祷会の祝福

・日曜礼拝の祝福

・牧師の働き

・ギデオン協会の働きのために

・セルグループの祝福

・LIG人生変革グループの祝福

・プレーヤーハウスの祝福のために

聖 日 礼 拝	(日曜)	(第一)	午前 10:00～11:30
キッズセル(子供礼拝)	(日曜)		午前 8:30～9:50
日曜礼拝バイブルスタディ	(日曜)		午前11:45～午後1:00 ☆礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ	(第1、第3火曜)	(昼)	午後 1:00～ 2:30
		(夜)	午後 7:00～ 8:30
祈 祷 会	(木曜)		午後 7:00～ 8:30
特別早天祈祷	(木曜)		午前 6:00～ 7:00

日曜日は教会へ

主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝

主の御手 週報

NO.1439

2023年2月26日 (日) 発行 2月第4週

私たちのビジョン
〔宣教〕
(使徒の働き11:21)

主の御手が彼らとともにあったので、
大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始10時

開始13時30分(浜松礼拝)

・讃美

・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)

・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)

・讃美

・メッセージ

・祈り

・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)

・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧になってどうぞ。)

・自由献金 (本日は、トルコ・シリア大地震支援のための献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)

・連絡

お 願 い

(1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。

(2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ

わたしは主、あなたをいやす者である。(出エジプト記15章 26節)

【いやし】

新改訳第3版



静まって考えよ

「マルコ4：37-40　すると、激しい突風が起こって波が舟の中にまで入り、舟は水でいっぱいになった。ところがイエスは、船尾で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、『先生。

私たちが死んでも、かまわないのですか』と言った。イエスは起き上がって風を叱りつけ、湖に『黙れ、静まれ』と言われた。すると風はやみ、すっかり^{なご}風になった。イエスは彼らに言われた。『どうして怖がるのですか。まだ信仰がないのですか。』」

タイタニック号

「タイタニック」という映画があります。1912年、イギリスの豪華客船タイタニック号が、アメリカのニューヨークに向かう途中、北大西洋で冰山に衝突し沈没するまでのいきさつを描いた実話です。映画では、徐々に船体が沈み始めたことから、やがてタイタニックが沈没することを悟った乗客たちが混乱するシーンが印象に残っています。逃げ惑う者、乗客を避難させようとする船員たち、乗客を落ち着かせようとして演奏し続ける音楽家たち、何が起こっているのか知らない小さな子どもたちに、お話を聞かせながら寝かしつけるお母さん……。さまざまな人々が入り乱れて船全体がパニックに陥っていきます。結局この事故は、1513人

が犠牲になる大惨事となりました。

タイタニック号は当時としては、高度な安全対策がされていて、船底は二重になっており、船体も水面上までの高さがある防水のための壁で16の区画に区分され、そのうちの2区画（船首部では4区画）に浸水しても沈没しない構造になっていました。タイタニックが沈むことはあり得ないと言われていました。しかし沈没^{まぬか}を免れることはできませんでした。

主が乗っておられる舟

イエス様が弟子たちと一緒にガリラヤ湖の向こう岸に渡ろうとされたとき、激しい突風が起こって、波が舟の中にまで入って、舟の中が水でいっぱいになってしまいました。ところがイエス様は、まったく動じられることもなく、舟のうしろの方で眠っておられました。ペテロやヨハネは漁師であり、いつもこのガリラヤ湖で漁をしていましたから、彼らにとっては慣れた場所でした。その彼らがいらだって「先生。私たちが死んでもかまわないのですか」と苦情を言うほど、緊迫した状況であったことがわかります。すると、イエス様は起き上がられて、荒れ狂う湖に大声で「黙れ、静まれ」と命じられました。途端に風はやんで、すっかり静かになりました。

神様は、すべての被造物を支配する権威を持っておられます。神であられるお方を舟にお乗せしながら、嵐に動揺している弟

子たちの不信仰を、主は「どうして怖がるのですか。まだ信仰がないのですか。」と叱責されました。イエス様が一緒に乗ってくださっている舟は決して沈みません。

心を騒がせていた

私は先日、やるべきことが間に合わなくて、とても焦っていたことがありました。自分がなんとかしなければ迷惑をかけるかと考えていましたが、それは前もって敗北を受け取ることだと指摘されて、その通りだなと思いました。それで最後まであきらめないで集中して取り組もうとしました。しかし時間が過ぎるにつれてまた心配がわきあがってきてしまい、集中できなくなりました。それでも自分でなんとかしなければと思っていたので、とても緊張してしまいました。しかし、その心配は自分勝手な考えであって、そんな心配はまったく必要なかったことが、すぐ後にわかりました。主が助けてくださいました。

そのときにやっと、自分は自分勝手に心配をして心を騒がせており、まったく神様に信頼していなかったことが示されました。イエス様が、騒いでいる私の心に対して、「黙れ、静まれ」と命じておられる、と思いました。静まって、神様に信頼していなかったことを悔い改めて祈りました。困難の中で心騒がせる私たちに、主は「どうして怖がるのですか。まだ信仰がないのですか。」とされています。

静まって考えよ

私たちの人生には、良い時もあれば、思い通りにはいかないこともたくさんあります。主は「順境の日には幸いを味わい、逆境の日にはよく考えよ。これもあれも、神のなさること。（伝道者の書7：14）」とされます。順調なときは主に感謝して、その喜びを味わえばよいですが、困難に出会った時は、へりくだって静かに考えなさい、とされています。神様は主権をもって働いておられます。そして私たちを愛し造ってくださいました。ですから、私たちに起こるできごととはすべて、私たちにとって良いことです。今、神様が何を私に語っておられるのか、このできごとを通して何を教えようとされているのか、静かに考えることが私たちのすべきことです。静まった時に私が教えられたことは、感情によらないで、信仰によって神様のみことばを受け入れて生きよ、ということでした。

主は、神を信じる私たちの人生の船にいつも乗っていてくださいます。「見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。（マタイ28：20）」。主がともにおられるので私たちの船は決して沈みません。ですから嵐のときも心を騒がせないで、信仰によって船を漕ぎ続けたいと思います。もうだめだというときには主が助けてくださいます。（鈴木千史）